

要約 京都の経営経済動向調査結果 (2010. 12. 27)

- 2010年10~12月期実績と2011年1~3月期及び2011年4~6月期予想 -

京 都 商 工 会 議 所
担当：中小企業経営相談センター
電話 (075) 2 1 2-6 4 6 7

国内景気は幅広い業種で慎重な見方が続く
～業況も季節要因によるプラスを除き低調に推移～

概 要

国内景気は今期▲7.5と下降し、円高や内需関連政策の縮小に伴う影響など不安感もあって、幅広い業種で慎重な見方が続く結果となった。自社業況は、秋の観光シーズンや年末需要など季節的な要因もあって一部業種ではプラスとなったものの、全体ではほぼ横ばいの状態で低調に推移。持ち直し基調は持続しているものの、中小企業の足取りは依然として重く、またハイテクなど輸出関連企業の回復の勢いにやや鈍化が見られるなど、先行き不透明な状況が続いている。

(注) 11月下旬から12月上旬にかけ同調査を実施し、609社中505社から回答を得た(対象は、京都府内に本社、本店を持つ企業)。また10~12月期のBSI値は、2010年7~9月期の景況感を基準に強気なら「プラス」、弱気なら「マイナス(▲)」で表している。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引き、2分の1を乗算。

I 国内景気動向

10~12月期のBSI値は、▲7.5(前期実績▲8.4)と下降し、幅広い業種で慎重な景況感となった。今後、2011年1~3月期は▲13.7とさらに下降を予想し、続く4~6月期は▲1.4とマイナス幅を狭めるものの下降基調で推移する見通しとなっている。

II 企業経営動向

自社業況(総合判断) 10~12月期のBSI値は、0.7(前期実績▲7.9)となり、観光需要や年末需要などの影響もあってほぼ横ばいで推移した。今後、2011年1~3月期は▲14.4と再び大幅な下降を予想し、続く4~6月期にかけて▲3.2と下降傾向を見通すなど、先行き精彩を欠く見通しとなっている。

※自社業況(総合判断)は、以下に続く「生産・売上高、工事施工高」から「資金繰り」までの6項目を総合的に判断したもの。

1. 生産・売上高、工事施工高 10~12月期のBSI値は、需要期に当たることから4.3と幾分増加した。今後の見通しについて業種別に見ると、2011年1~3月期は、運輸・倉庫業や小売業、旅館・ホテルといったサービス業や食料品卸などの卸売業をはじめ、製造業の食料品などほとんどの業種で減少を予想し、続く4~6月期は、建設業や不動産業、製造業の鉄鋼、窯業・土石、木材・木製品といった業種を中心に減少が続く見通しとなっている。
2. 製・商品・サービス・請負価格 10~12月期のBSI値は、▲3.8と下降を続けた。今後の見通しについて業種別に見ると、2011年1~3月期は建設業や旅館・ホテルなどのサービス業、運輸・倉庫業、不動産業、製造業の鉄鋼をはじめほとんどの業種で下降を見通し、続く4~6月期は

サービス業の旅館・ホテルや小売業、卸売業の食料品卸など一部業種で上昇を予想するものの、建設業、不動産業、製造業の精密機械、繊維、出版・印刷やサービス業の料理・飲食など多くの業種で下降を続ける見通しとなっている。

3. 経常利益 10～12月期のBSI値は、1.3とわずかながらプラスとなった。今後の見通しについて規模別に見ると、2011年1～3月期は大企業、中小企業ともに減益を予想し、続く4～6月期は大企業では増益を予想するものの、中小企業では減益を見通すなど厳しい見方が目立ち、規模間で差が見られる。
4. 所定外労働時間 10～12月期のBSI値は、5.2と増加した。今後の見通しについて業種別に見ると、2011年1～3月期は不動産業、建設業、製造業の一般機械やサービス業の情報・事業を除く多くの業種で減少を予想し、続く4～6月期は建設業をはじめ窯業・土石、染色、鉄鋼、木材・木製品といった製造業や小売業など多くの業種で減少する見通しとなっている。
5. 製・商品在庫 10～12月期の製・商品在庫は、「適正」とする企業が78.1%と概ね適正水準で推移したが、一部に過剰感が見られた。業種別に見ると、製造業の窯業・土石と繊維製造、繊維卸など繊維関係で過剰感が見られた。今後は、繊維関係など一部でやや過剰感が残るものの、全体としてはやわらぎ、概ね適正水準で推移する見通しとなっている。
6. 資金繰り 10～12月期のBSI値は、▲2.5と幾分悪化した。今後の見通しについて規模別に見ると、2011年4～6月期にかけて、大企業では改善を予想するものの、中小企業では悪化を見通すなど規模間で差が見られる。

Ⅲ 当面の経営上の問題点

「受注・売上げ不振」(69.7%)が前回に続き第1位になった。第2位は「過当競争」(34.3%)、第3位に「製・商品(請負)価格安」(29.9%)、第4位に「人件費負担増大」(16.2%)、第5位に「原材(燃)料高」(14.3%)が続いた。「為替問題」は前回6位から今回7位に順位を下げたものの、製造業の精密機械、一般機械、その他製造業、化学・ゴム、電気機械といった業種を中心に多く指摘された。

国内景気		実績			予想					
		2010年10～12月期			2011年1～3月期			2011年4～6月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		▲ 7.5	15.2	30.2	▲ 13.7	6.8	34.2	▲ 1.4	17.4	20.2
規模別	大企業	▲ 6.7	14.8	28.2	▲ 6.7	9.9	23.2	1.1	17.0	14.9
	中小企業	▲ 7.9	15.3	31.0	▲ 16.5	5.6	38.5	▲ 2.4	17.5	22.3
業種別	製造業	▲ 7.8	16.3	31.8	▲ 14.8	6.2	35.7	▲ 1.9	16.3	20.1
	卸売業	▲ 6.6	21.3	34.4	▲ 14.7	6.6	36.0	0.9	19.7	18.0
	小売業	▲ 10.9	4.3	26.1	▲ 6.6	4.3	17.4	8.7	21.7	4.3
	建設業	▲ 10.3	5.9	26.4	▲ 11.8	8.8	32.3	▲ 8.8	11.8	29.4
	不動産業	▲ 15.8	5.3	36.8	▲ 15.8	5.3	36.8	▲ 2.5	20.0	25.0
	運輸・倉庫業	▲ 7.7	7.7	23.0	▲ 13.5	0.0	26.9	3.9	15.4	7.6
	サービス業	▲ 3.2	19.0	25.3	▲ 12.0	11.4	35.4	▲ 2.6	20.5	25.7

自社業況 (総合判断)		実績			予想					
		2010年10～12月期			2011年1～3月期			2011年4～6月期		
		B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降	B.S.I.値	上昇	下降
総計		0.7	28.7	27.4	▲ 14.4	11.5	40.2	▲ 3.2	20.9	27.3
規模別	大企業	1.8	28.3	24.8	▲ 6.1	17.1	29.3	0.7	23.0	21.6
	中小企業	0.2	28.8	28.5	▲ 17.7	9.2	44.5	▲ 4.8	20.1	29.6
業種別	製造業	▲ 1.2	29.4	31.8	▲ 15.4	10.6	41.4	▲ 3.7	18.8	26.2
	卸売業	4.2	33.4	25.0	▲ 14.2	8.3	36.6	2.6	21.7	16.6
	小売業	4.4	26.1	17.4	▲ 8.7	13.0	30.4	▲ 4.4	13.0	21.7
	建設業	▲ 5.9	14.7	26.5	▲ 5.9	20.6	32.3	▲ 25.0	11.8	61.8
	不動産業	0.0	21.1	21.1	0.1	26.4	26.3	0.0	20.0	20.0
	運輸・倉庫業	5.8	30.7	19.2	▲ 25.1	3.8	53.9	2.0	30.8	26.9
	サービス業	3.8	30.4	22.8	▲ 16.5	11.4	44.3	1.3	30.8	28.2

※ B.S.I.値 = (上昇 [増加、他] - 下降 [減少、他]) × $\frac{1}{2}$